

# 『逆姉妹』

zen9



18禁

# 『逆姉妹』

zen9

MANAMAGU BOOKS VII



18禁

18歳未満の方の購読を禁じます  
著者の許可なく本誌内容の  
複製、転載を禁じます

彼女が祥子さまの妹になつたと聞いたとき

しかし……

彼女を……

05

祐巳さまを  
見てから

私は

私は見たこともない  
彼女を僻み妬んだ

祥子さまを  
僻み……妬んだ



おーい

瞳子ってば

瞳子お

あら

乃梨子さん  
何かご用？

今日も祐巳さまの  
手伝いに薔薇の館に  
行くんだよね？

私と志摩子さん行け  
ないから、伝えて  
おいてもらえるかな

ふふふ

わかりましたわ

そのように祐巳さま  
に伝えておきますわ

あんまり祐巳さまを  
いじめちゃだめよ

あら私は  
そんな事して  
ませんよ



でも……

祐巳さまは見てると  
いじめたくなるのは  
確かですわね

もー駄目だって  
瞳子……

わかってますわ

ワス

祐巳さま

こちらの作業は  
終わりましたが

あ、本当？  
それでおしまい  
だから

瞳子ちゃんがいると

ほんと

助かるわあ♪

そんな  
おだてても

何にも  
でませんよ

んー



ふふふじゃあ

紅茶でも  
入れるから

紅茶なら私が  
美味しいのを  
入れますわ

祐巳さまはどうぞ  
座っててください



どうぞ

暖かいうちに  
飲んでくださいね



ありがとう瞳子ちゃん  
手伝ってもらった上に  
紅茶まで

いいえ

どうぞお気に  
なさらずに

ごちそうさま  
美味しかった♪

瞳子ちゃんを妹にしたら  
毎日大助かりだね

そうですか・・・  
でも・・・私  
誰の妹にもなる気は  
ありませんから

あっ・・・

カ

09

ごっ・・・ごめんなさい  
そうか瞳子ちゃんは  
お姉さまの妹に・・・

いいえ違いますわ  
わたくしは・・・

あっ

わたくしは妹ではなく  
祐巳さまのお姉さまに  
なりたいと思っています





なっ・・・

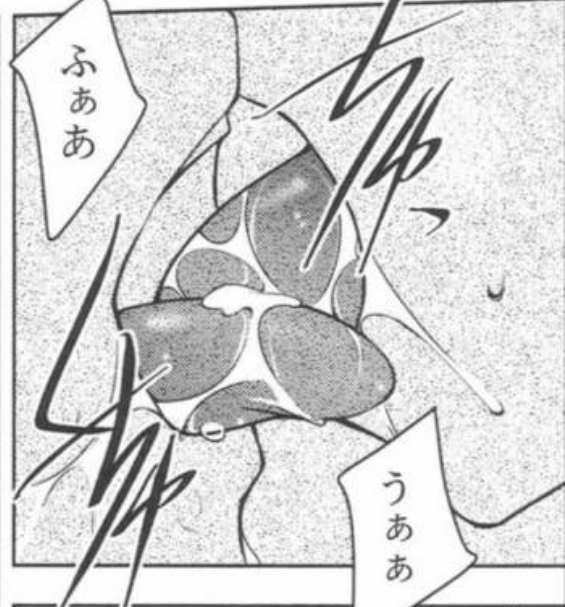
あら冗談じゃ  
ありませんわよ  
祐巳さま・・・

と瞳子ちゃん  
何、冗談を・・・



身体力が  
ぬけ・・・ああ

瞳子ちゃん  
あ・・・あなた・・・



ふああ

うああ



こぶあああ

先ほどの紅茶に  
ちよっとした薬を・・・  
大丈夫ですよ気持ちの  
良くなる特別製のお薬ですから

ひっ

どう・・・して・・・  
こ・こんな事を・・・  
ねえ瞳ちゃん・・・

や、やめ  
駄目だよ

言ったじゃないですか  
私は祐巳さまを妹に  
したいんです、すべてを  
私のものに・・・

いくら祥子さまの  
妹でも私は奪ってでも  
祐巳さまを私のものに  
してみせますわ

ふふふ

やああッ

そ・・・そんな  
おかしいよこんなの  
誰にも・・・誰にも  
言わないから、ねっ

こんな事やめてよ  
瞳子ちゃん・・・

な・・・なんで  
身体の芯が変よお  
熱い・・・ふああ

ふふ、それは本心ですか？  
祐巳さまの身体はすでに  
私の愛撫にうち震えています  
わよ、ほらこんなにも

うそおおアソコが・・・  
焼ける・・・焼けちゃうよお  
何で・・・どうして・・・

ふふふ、大丈夫ですわ  
私がつくに祐巳さまの熱さを  
鎮めてさしあげますから  
まあ沢山のオツユが・・・

やあつ、駄目やめえ  
お願い瞳子ちゃん  
そんな見ないでえ

わあ

にちやあ

あら？そんなに  
恥ずかしがらないで  
とても綺麗ですわよ  
祐巳さまのアソコ

とつても  
美味しそう

だつ駄目えッ  
そんな所舐めちゃ

ふああやあそんな  
そんなにしらないでえ

ふふふ  
じゃあこれは

祐巳さまの処女膜を  
破っちゃいましょうか？

妹あああつ、駄目ッ  
駄目えそれだけは  
お願いだからっ



ふふふじゃあ  
私の言う事

聞いて  
くれますか？

聞く・聞くから  
お願いだから  
それだけは許して  
お願いよ瞳子ちゃん



やあツやあああ  
くるくるのお

ほら・ほら  
さあどうぞ

約束ですよ・じゃあ  
破らずにいかせてだけ  
あげますよ祐巳さま

ひいああツがああああツ





まあ祐巳さま  
潮までこんなに  
案外祐巳さまは  
こういうのが  
好きなんじゃ？

そ……そんな  
酷い……事……で  
言わない……



ふっふっ  
ひゅあ

あ

あ



あら？私は  
嫌いじゃありま  
せんよ？

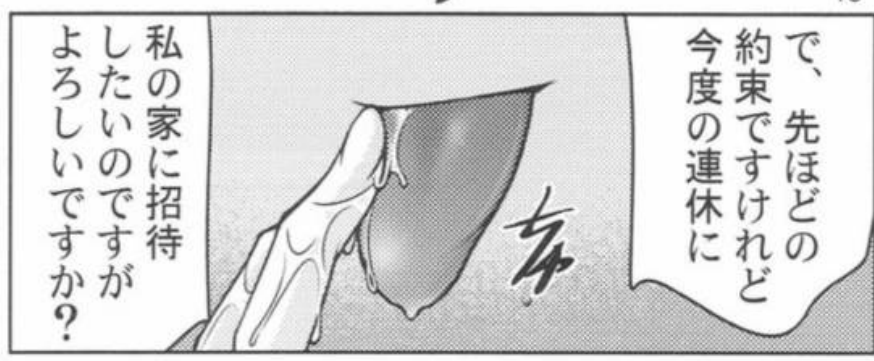
むしろ嬉しい  
くらいですもの

私の手で  
いってくだ  
さったんだから



それでは

ごきげんよう  
祐巳



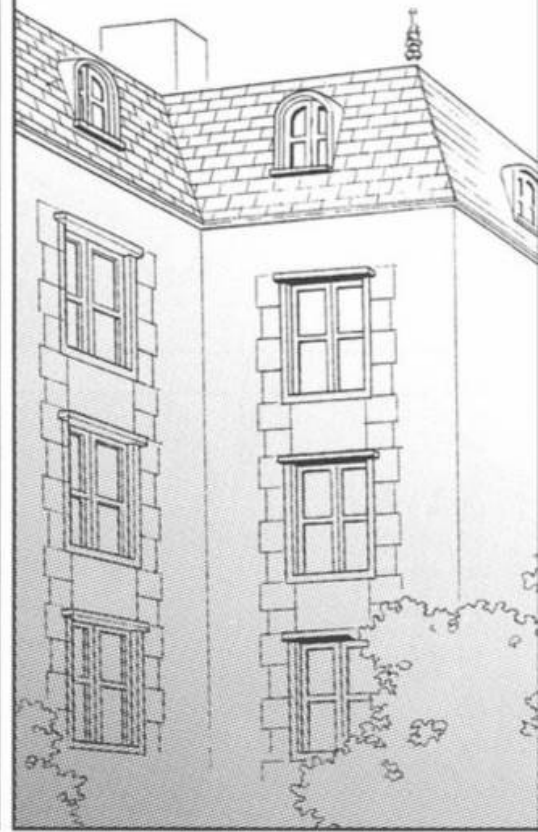
で、先ほどの  
約束ですけれど  
今度の連休に

私の家に招待  
したいのですが  
よろしいですか？



もちろん泊まりに  
なりますけど  
遠慮などはしないで  
くださいね

ああ、今から楽しみ  
ですわ♪色々準備して  
待っていますわ



ねえねえ瞳子さまのお友達って  
リリアンの上級生の方なの？  
じゃあ瞳子さまの  
お姉さまってやつなのかしら？



いえどうやら彼女は  
小笠原のお嬢様の  
妹らしいわ

へえ結構  
地味めの娘よねえ  
上の彼女

んーまー

でもすごく  
親しみがあって  
可愛いけど

16



んぐ  
ん  
ウ  
ウ  
ウ

んっ

ふうん

んふうっ

んぶぶ

んんっぐう

ふんふふん

あらっ、  
どうしました

んごおごお

んもおツ

もう我慢出来なくなっ  
たんですか？

まだ2時間くらいしか  
たつてないですよ？

ウ  
ウ  
ウ

ウ  
ウ  
ウ

ウ  
ウ  
ウ

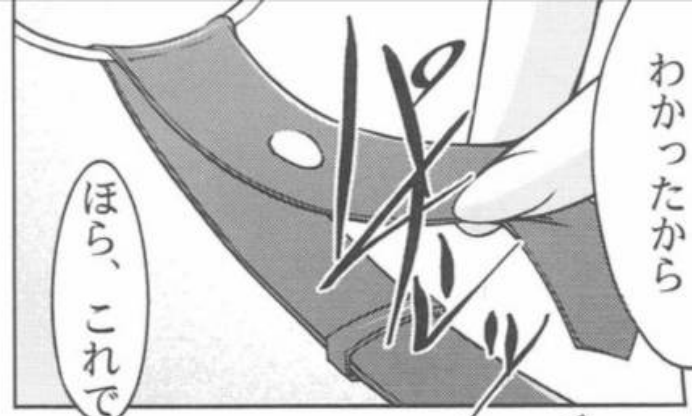




見れば見るほど  
いやらしい身体つき  
してるのね祐巳は

はいはい  
わかったから

ほら、これで



お・お願いだから  
コレ止めて頂戴い  
このままじゃ・  
おかしくなっちゃう



身体中が  
びりびりと  
電気が走って  
うあはあッ

あら？まだ理解  
してないの？

祐巳は私の  
何なのかしら？

ほら？何か  
言う事ないの？





ほらっ

祐巳は私のなに？

ほらっどうにかして  
欲しいんじゃないの？

あが  
やあッ

あッ  
あッ  
あッ  
あッ



やああッ

お願いッ

瞳子ちやあッ



時間はまだまだ  
たっぷりあるからね

じっくりと堪能してね



あ...  
そう...

はっ

えっ？

も・・・  
もう駄目え

お、お願いします  
瞳・・・子・・・

お、お姉さま  
祐巳は・・・

もう・・・  
もう我慢が  
お願いですう  
いかせてください

わ、わかりました  
わかりましたから

祐巳を・・・

よく言えました

祐巳をいかせて・・・  
気持ちよくしてくださいイ

たっぷり可愛がつて  
あげるわ祐巳



お待ちませ祐巳

ほくら  
見てご覧なさい

この  
デイルドーで

祐巳の処女膜を  
やぶってあげるわ

私が祐巳の初めての  
相手になるのよ

ふふふ

これで本当に  
祐巳は私のもの  
になるのよ

やあッ

やっぱり  
いやあッ

はあ

お願いです  
やめて・・・  
やめてええッ

あら？本当にやめてもいいのかしら？

口とは別に身体の方は全然意見が違みたいだけでも

本当の祐巳はいつたいどちらの方なのかしら？ほら？どうなの祐巳？

欲しくて欲しくてたまらないんでしょ？いいのよ祐巳

私はエッチな妹でも愛してあげるから

ほら正直に言いなさい

祐巳

……なんに……  
くださいいつ

良い子よ

気絶するくらいいかせてあげる



ひぎいッ  
痛いッ痛いですッ  
お……  
お姉さまッッッッッ！

さけッッ  
裂けちゃッッッ  
うう



ん



あがッ

がああ



大丈夫……その痛みが  
私と祐巳の姉妹の絆  
私との契約……

愛してるわ祐巳  
私の妹……

ほらだんだん愛液の  
量が増えてきた  
んじゃないのかしら？

は、はいっ  
段々・・・ッ

痛いのに・・・  
痛いのが気持ち  
よくなってるえッ

お、

お、

お姉さまの  
動きがあ  
いいのお

嬉しいわ  
私も祐巳が喜ぶ顔  
がみれて幸せよ

いい？祐巳？  
これからは貴方は

私だけのものよ？  
私の為だけに身体を  
開くの・・・いい？

は、

はッはい

私は・・・  
わたしはあッ

はあ

お、お姉さまの  
お姉さまだけにイ  
すべてを捧げますう

はあ



お姉さまッ  
お姉さまあああ

祐巳を・・・祐巳を  
愛してくださあいッ

オネエサマ・・・



はい変わりました  
瞳子です・・・

まあ♪  
様子さま、ええ

そうですね祐巳さまが  
一昨日から・・・ええ  
私の方からお願いして

・・・ん

ええ、もちろん

・・・ん

カチ







## あとがき

今回は久しぶりのパロディものとなります  
が、やはり自分の絵で描きたいというエゴのせいで、瞳子も祐巳も  
全く似ていませんwそこら辺はどうかご勘弁ください(涙)  
話の内容的には自分的でいいと思うんですがいかがでしょうか？  
最近はや言葉の言い回しとかいろいろ考えております、はい  
照れるようなセリフもやはり盛り上げるためには必要かと  
まゝ相も変わらず努力しないといけない状況です(汗)

さて今回の題材「マリア様がみてる」ですが  
ここ3巻ほど読んでおりません、ですので皆様絶賛の  
可南子嬢の詳細は全くわかりませんw  
自分の中では瞳子が祐巳の妹になって欲しいですから…  
とりあえずまたマリミテの同人誌描きたいですから  
その内きちんと全部読みます、はい…たぶん…おそらくw  
でも次を描くとしたら今作の続きか白薔薇一族系か  
今作の続きで白薔薇系を巻き込んでいくのもいいかも♪  
まゝその時も似ていないとは思いますがどうぞよろしく

あと…

マリミテのイメージが崩れてしまった方は本当にごめんなさい  
zen9も本当にマリミテの世界が好きですが  
こちらの方面も大好きなもので…ご了承ください

仕事の方も今までと変わらずに「FOX出版のヒメクリ」  
に描かせていただいておりますのでそちらの方もよろしくです！

今回もお手伝い頂いたSOH`君に感謝です  
薔薇の館は笑ってしまいましたw

ではまた次の同人誌で

2003年12月30日 zen9



# 『逆姉妹』



奥付

発行：まなまぐ

発行者：zen9

発行日：2003年12月30日

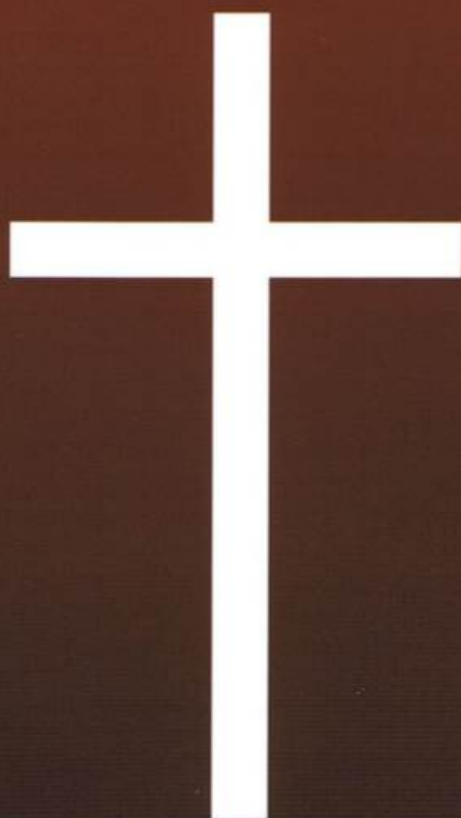
印刷所：PICO様

# 『逆姉妹』

zen9

MANAMAGU BOOKS VII

<http://www.sx.sakura.ne.jp/~zen9/manamagu>



18禁